

令和6年度第2回浜松市保健医療審議会会議録

1 開催日時 令和7年3月13日（木） 午後7時30分～午後8時40分

2 開催場所 オンライン会議（事務局 浜松市口腔保健医療センター講座室）

3 出席状況 委員 14名

滝浪實会長・岡俊明副会長

海野直樹委員・江上直美委員・尾島俊之委員・金子寛委員・

岸本肇委員・木村裕一委員・坂本貴宏委員・正田栄委員・

月井英喜委員・宮島克利委員・柳田温委員・山岡功一委員

事務局 28名

平野医療担当部長・西原保健所長・板倉健康福祉部医監・西崎健康医療課課長・高井健康医療課課長補佐・清水健康医療課副主幹・大平健康医療課主任・木下健康医療課主任・戸田夜間救急室専門監・二宮精神保健福祉センター参与・土屋精神保健福祉センター副技監・山下保健環境研究所課長・徳増病院管理課課長・鈴木病院管理課課長補佐・三枝佐久間病院院長・北野谷佐久間病院課長・渥美健康増進課課長・小笠原健康増進課課長補佐・田辺健康増進課専門監・密岡保健総務課課長・鈴木動物愛護センター課長・落合生活衛生課課長・風間生活衛生課担当課長・久保田生活衛生課担当課長・山本保健所浜北支所課長・坂本高齢者福祉課担当課長・谷口介護保険課課長・栗田国保年金課課長

4 傍聴者 0名

5 議事内容 報告事項

(1) 中山間地域の医療体制確保に関する基本方針（案）について

(2) 予防接種事業について

(3) 地域医療連携推進法人の設立について

(4) 自殺ハイリスク妊産婦に関する産科を含めた連携体制について

6 会議録作成者 健康医療課 清水

7 記録の方法 発言者の全部記録 録音の有無 有・無

8 会議記録

1 開会

(西崎健康医療課長)

本日は委員の皆さまには、大変お忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。
令和6年度第2回浜松市保健医療審議会を始めさせていただきます。進行役は健康医療課
の西崎でございます。

会議の開催にあたりまして、健康福祉部医療担当部長の平野よりご挨拶申し上げます。

(平野部長)

浜松市健康福祉部医療担当部長の平野です。本日はどうぞよろしくお願いいたします。
日頃から委員の皆様方には保健医療行政の全般にわたりまして、多大なるご理解、ご協力
いただきましてありがとうございます。

本日は次第にありますとおり4点ございまして、1点目が中山間地域の医療体制確保に
関する基本方針、2点目が予防接種事業、3点目が地域医療連携推進法人の設立、4点目が
自殺ハイリスク妊産婦に関する産科を含めた連携体制についてということで、この4点に
つきまして報告をさせていただきます。

令和6年度は本日の2回目をもって終わりですけれども、令和5年度と令和6年を比較
すると、令和5年度はいろいろな市の計画策定のラッシュということで、健康はままつ21、
がん対策計画、自殺対策計画、感染症予防計画も含めてこの場でご審議いただきました。

令和6年度につきましては、コロナの対策でずっと水面下の中で潜んでいた課題、或い
は見過ごされていた、或いは見送られていた課題が令和6年度にふつふつと上がってきて
いると感じているところでございます。

引佐日赤の病院の閉院、或いは中産間地域において高齢のために閉院を廃業せざるをえ
なかったクリニックなど、地域の医療体制も変わりつつあるなと思っております。

また在宅医療と介護の連携につきましても、待ったなしの状況ということも感じており
ます。

それからもう1つ、医療DXがどんどん進んでいるというところを感じておりますが、
ただやみくもに進めるのではなく、これを進めることによって市民にとって何のメリット
があるのかというところを常に念頭に置きながら、私たちは進めていかなきゃいけないと
思っているところで、ございます。

あと、Yahooニュースの情報でしたが、AIのこの記事があり、虐待が疑われる
子供の一時保護をめぐり、人工知能にその必要性を判定させるシステムについてこども家
庭庁が導入見送りを決めたことがわかったということでした。これは国が2021年度から約
10億円をかけて開発を進めてきたということでした。最終的な判断を下す児童相談所の職
員を補助する役割が期待されていましたが、テスト段階で判定ミスが6割に上ったAIは
虐待の判断にはなじまず、実用化は困難と結論づけたというようなニュースが出ておりま
した。

DXといってもAIとイコールではない部分があるかもしれないのですが、やは

り人が全体を見て考えるべきところ、それからA Iを使うところ、D Xを使うところを含めて私たちは多種多様な時代にこれから生きていくものですから、きちっと、いろんなことを見失うことがないようにやっていかなければいけないと思った次第でございます。

本日は報告事項の案件が4件ございます。本当に貴重なお時間の中ですが、忌憚ないご意見をいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(西崎健康医療課長)

本日の審議会につきましては、委員総数15人のうち、14人のご出席をいただいておりますので浜松市保健医療審議会条例第4条第2項によりまして、会議が成立していることをご報告申し上げます。本日の欠席は磐周医師会の鈴木委員となっております。また、本日は案件数が多いため、出席委員のご紹介は事前に送付した名簿に代えさせていただきます。本審議会の議長は、条例第4条第1項に基づき、滝浪会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

(滝浪会長)

本日は皆様、またお忙しい中、大分暖かくなりましたけども、ご審議のほどよろしくお願いいたしたいと思います。議事に入る前に本審議会の公開について各委員の了承をいただきたいと思います。本日の審議会では、個人情報など、非公開情報を審議する予定がないようでございます。浜松市情報公開条例により、議事を公開することにしてよろしいでしょうか。また、傍聴者がいる場合は、傍聴を許可したいと思い、思いますがよろしいでしょうか。(委員の了承を確認した。)

2 議事

(滝浪会長)

それでは、議事に入ります。

はじめに、報告事項(1)「中山間地域の医療体制確保に関する基本方針(案)について」事務局から説明を求めます。

(西崎健康医療課長)

資料1に基づき説明をした。

(滝浪会長)

事務局から説明があった件について、委員の皆様からそれぞれの立場でご意見ご質問いただけますでしょうか。

磐周医師会の鈴木先生は今日いらっしゃらないので、引佐郡医師会の金子先生いかがでしょうか。

(金子委員)

引佐郡医師会は、旧引佐町の北部が中山間地域になっていて、36 ページの引佐北部にあるように、公設公営で医師 1 名が定年延長してやっているということですが、新しく医師を呼ぶというのは難しいところもありまして、今は佐久間病院からの支援等もいただいているところですが、来年度についてはまだはっきり聞いてはいませんがそろそろ結論が出るところじゃないかと思います。

以上です。

(西崎健康医療課長)

引佐の公設診療所の管理者の柿沢医師につきましては、定年延長を継続しておりますので、来年度以降もまた管理者としてやっていただくことになっております。

(滝浪会長)

柿沢先生は、何か所かの診療所・施設にわたり面倒を見ていただいているというお話も聞きましたので、非常に多忙で大変だなという気持ちはありますけども、後任の方がいらっしやれば、また充実した活動になるかと思いますので、そのあたりも含めて安心することなく、人材のことに關しても市でお考えいただければと思います。他に何かよろしいでしょうか。

はい、正田委員お願いします。

(正田委員)

浜名医師会の正田です。30 ページに、ドローンを活用した医薬品輸送の体制とありますが、どこを運ぶのでしょうか。法律的な問題があつて、なかなかその人の家を跨いで飛んではいけないような気もするので、公道を走っていくしかないのかなと思いました。そういう法律的な問題でこれがうまくいくのか、或いは他の地域でもこういうことができるのかなということを伺いたいです。

(滝浪会長)

実証実験などいろいろやってらっしゃると思うので、詳しい話をよろしくお願いします。

(西崎健康医療課長)

こちらのドローンにつきましては、天竜川水系が許可、いわゆるドローン航路として認められておりますので、実際に今天竜川水系の根本の二俣からあたごルート、それから、春野ルート、それからずっと上の方に行きまして佐久間水窪へと天竜川の上を通れるものですから、今その航路の設定をほとんど終えているというような状況になっております。

実際に医薬品の運ぶ実証実験を行いまして、先ほど申しました通り 1 月に二俣にある薬局から、あたご診療所に医薬品を運ぶという航路がもうすでに設定されまして、こちらが無人飛行のいわゆるドローンレベル 3.5 でございまして、これは日本では初めてです。無人飛行で医薬品等を運べるというものが認められたというところがございます。

今後、市としては、それ以外の春野などいろんなルートを天竜川の川の上を通っていき

ますので、その自動運転が今後また実装されていくのではないかなと思っております。

（正田委員）

ついでに伺いますと、ドローンの大きさってどのくらいで、何をどれくらい運べるのでしょうか。落っこちちゃったらしょうがないじゃないですかね。

（西崎健康医療課長）

ドローンはかなり大きくて飛行機のようなタイプで、一応羽根は4つ付いていて飛行機のような形になっておりまして、まだ今現時点では1キロぐらいまでしか運べないのですが、大体2メートルぐらい、横幅2メートルぐらいのドローンです。もう一回り大きいドローンも今開発されておりまして、おそらく、来年以降ぐらいに大きいものが導入されるようになると、10キロぐらい運べるようになり、巡航速度も100キロ以上、150キロぐらいのスピードが出るというようなことを聞いております。

（正田委員）

そうするとイメージ的に川の上を通るってことは、船の代わりに飛んでいるというイメージでよろしいのでしょうか。そうすると、着陸場所はやはり天竜川沿いということなのでしょうか。

（西崎健康医療課長）

今、医薬につきましては二俣からあたごというところですが、実際に物流がメインになってきますので、浜松インターのところの白鳥町が物流の拠点になりまして、そこから二俣の壬生ホールにドローンの拠点ができますので、基本的には浜松インターの白鳥町から二俣までどんどんこうドローンが飛んでいくというような形になります。今度はその二俣のドローン拠点からまた中山間地の方に飛んでいくという物流の流れになってくるのではないかと思います。

（滝浪会長）

いろいろマスコミでも広報していただいて、期待感が非常に高まっていると思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。中山間地ではないですけども、目的としては海や浜名湖を渡ることなども含めて、安全に渡していくことを構想されていると思いますので、実証実験が済んだらまた教えていただければと思います。

公衆衛生的な立場で尾島先生何かコメントございますでしょうか。

（尾島委員）

これからいろいろ状況が大変になる中でしっかり計画を立てていただいたと思いますが、将来の推計人口について、天竜区合計の数値を書きいただいておりますが、それぞれの地域でこの先人口減少も予想される中で、地域の助け合いとかそういうものも含めながら地域の皆さんの健康を守っていくことは重要なポイントだと思いますので、将来推計等も踏

まえながらまた地域の方々と相談しながらいろんなことをより深めていけるといいのではないかと思います。

（滝浪会長）

人口減少は市にとっても非常に問題で、先日の市長のお話でも問題意識を強くお持ちになっており、できる限り市の住民の人数を増やしたいというようなことをおっしゃっていました。

他にいかがでしょうか。（委員から意見がないことを確認した。）

（滝浪会長）

それでは、報告事項（2）「予防接種事業について」事務局から説明を求めます。

（渥美健康医療課長）

資料2に基づき説明をした。

（滝浪会長）

事務局から説明があった件について、委員の皆様からそれぞれの立場でご意見ご質問いただけますでしょうか。

（滝浪会長）

それでは私から1点、HPVワクチンのキャッチアップのことですが、やはり検診が必要だということを、広報するとき一緒にまぜることも含めてお願いしたいと思います。

今お話聞いたら、対象者が2万人というお話を聞きましたので、その人たちがまだまだのんびりしているというか、そういうことへの意識がちょっと足りないのかなということで、やっぱりワクチンは怖いからやらないということであれば、やっぱり検診はしっかりやってもらって、がんを早期に発見してもらって自分の子宮を守っていただきたいということがあります。その辺りについてはいかがでしょう。

（渥美健康増進課長）

ワクチンも当然重要でございますし、今年度1回の接種をしていないキャッチアップの対象の方に周知をして、1回でも打っていただければ、来年度打っていただける制度になりますので、これをぜひやっていただきたいと思いますと思っておりますし、併せてがん検診をというお話をいただきました。こちらにつきましては、議会からでもがん検診について若い世代を中心にしっかりと周知するように言われておりますので、その辺りはLINEを活用した周知や、各イベントでの周知をしっかりして参りたいと思っております。

（滝浪会長）

打ってないということは、打たないという意思表示の方たちかもしれませんので、そうするとその方たちはやっぱり特別、がんの検診をしていただきたいと思います。

他にいかがでしょうか。はい、尾島委員お願いします。

（尾島委員）

この予防接種についてちょうど別のことで全国の市町村に実態調査していたところなのですが、このキャッチアップ接種の延長などについて、国の方からかなりぎりぎりになってから通知が来たりして、大変だったというお声が全国から寄せられていました。

具体的に国からやっぱり延長になりますというのはいつ頃連絡があったとか、国の審議会で議論になったときに延長になるらしいとか、何か非公式な情報が入ったりとか、どんな状況だったのでしょうか。

（滝浪会長）

それでは事務局の方からお願いしたいと思いますけども、このキャッチアップに関しては、医師会からもかなり強く継続性をお願いしていたところでございますので、浜松市は割と早い段階で内容を模索していらっしゃったかと思います。いかがでしょうか。

（渥美健康増進課長）

国の審議会が6年の11月にございました。

その後、事務連絡として通知が来たのが1月28日になります。その中で手続きについては、一定の時間を要するところ各自治体においては速やかに接種体制の確保に取り組んでいただくことが必要であるというふうに言われておりました。

キャッチアップを実施する場合、予算自体は翌年度予算になりますので、当初予算審議ということにはなりますが、1回も打ってない方に周知するのは今年度発送しないと意味がないことになりますので、そのあたりは議会の方をお願いして、来年度事業にかかることですが、当初予算審議前に発送ができるよう2月の委員会の席でお願いをさせていただいて、通知を出させていただいたという経緯になっております。

（尾島委員）

2月21日に発送いただいたということで、かなりアンテナ高く、情報収集して対応されたのかなというふうに思いました。ありがとうございました。

（滝浪会長）

貴重なご意見ありがとうございました。

他にございますでしょうか。（委員から意見がないことを確認した。）

（滝浪会長）

それでは、報告事項（3）「地域医療連携推進法人の設立について」事務局から説明を求めます。

（徳増病院管理課長）

資料 3 に基づき説明をした。

(滝浪会長)

事務局から説明があった件について、委員の皆様からそれぞれの立場でご意見ご質問いただけますでしょうか。

(正田委員)

ちょっと伺いたいのですが、47 ページのところにいろいろ連携業務が並んでおり、全般的に地域という言葉がよく出てきますが、想定している地域は、この県の 3 つの法人を見ますと東中西 1 個ずつ分かれていて、例えば東部と書いてあるとおり県東部の地域医療体制と書いてありますけども、ここの法人の地域はどこを想定していますか。西部医療圏で湖西も入るということでしょうか。

(徳増病院管理課長)

西部医療圏を想定しており、湖西も入ります。

(正田委員)

それから今 2 つの病院が入っていますが、この厚労省の表から見るとこれからも増えていくということも可能ですか。

(徳増病院管理課長)

当面はまず 2 病院でやっていきたいと思っておりますが、今後他の病院さんや場合によってはクリニックさんも含めながらというところも、ゆくゆくは考えていきたいと思っております。

(正田委員)

西部医療圏ということで、例えば医療センターの患者さんの 4% ちょっとは、湖西から来ているということで毎年そういう発表にもなっています。そういうことも考えておいていただければということをお願いしたいと思います。

(徳増病院管理課長)

市立湖西病院につきましては、医療センターとすでに連携協定を結んでおりまして、実際にドクターを湖西病院の方に送るといった取り組みを行っておりますので、そこは引き続き、連携を深めながらやっていきたいと考えております。

(正田委員)

湖西病院も昔ほどのパワーがあるわけじゃないし、湖西地区にもう 1 個病院がありますが、内科もやっていますが整形中心になってきつつあると思われます。それから湖西の救急車自体が 20% 浜松に来ています。10% は豊橋へ行っています。その 20% のうち 15% が

浜名湖の南側へ、5%は北へ向かって行くというような状況なので、そういったところもよろしく願いいたします。

(滝浪会長)

それでは今回はご報告ということで、報告を粛々と上部に進めていただいて、県の医療審議会で認定されて進んでいくということですね。

他にございますでしょうか。(委員から意見がないことを確認した。)

(滝浪会長)

それでは、報告事項(4)「自殺ハイリスク妊産婦に関する産科を含めた連携体制について」事務局から説明を求めます。

(二宮精神保健福祉センター長及び土屋精神保健福祉センター副技監)

資料4に基づき説明をした。

(滝浪会長)

事務局から説明があった件について、委員の皆様からそれぞれの立場でご意見ご質問いただけますでしょうか。

(滝浪会長)

特によろしいでしょうか。

すでに連携をいただいているようでございますので、動いていただければと思います。他にございますでしょうか。(委員から意見がないことを確認した。)

(滝浪会長)

ありがとうございます。

それでは事務局よりその他の報告事項があったらお願いいたします。

(西崎健康医療課長)

事務局から1点連絡事項でございます。

委員の皆様の任期につきまして今月をもって任期満了となります。委員の皆様におかれましては今まで様々なご意見等ちょうだいいたしまして誠にありがとうございました。各団体に対しまして4月以降の委員の推薦依頼をさせていただいておりますので、またご承知おきください。

(滝浪会長)

本日の議長議事は以上ですけれどもその他何か皆様方からご意見等ありましたらお願いいたします。

はい、山岡委員お願いします。

(山岡委員)

佐鳴湖病院の近況について説明した。

(滝浪会長)

他に何かございますでしょうか。(委員から意見がないことを確認した。)

それでは議事が終了しましたので、事務局へお返しいたします。

(西崎健康医療課長)

ありがとうございました。

それでは以上をもちまして審議会を終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。